

若い後継予定者が公的制度を活用し、更なる飛躍を目指す！

溝西鐵鋼株式会社（大阪府）

創業から60年、建設や機械などの産業向け鋼材の加工、販売を営む事業者。

1. 相談のきっかけ

事業者の所在する地域は、鉄鋼関連企業が多く立地しているものの、「鐵のまち」としての認知度が十分ではなかった。そのような状況で、事業者のみならず業界全体、引いては地域産業を活性化させる取組みを模索しているところであり、その過程で相談した大阪市から当拠点を紹介され、今後の戦略について相談に至った。

2. 課題整理・分析

- ・事業者の思いを達成するためには、自社単体での単なる業績向上というよりは、自社の取組が地域ブランドの育成につながるというような、地域への広がりをもたらすような取組みが必要と判断。
 - ・まずは事業者の成長支援は必須であるため強みを確認。社歴が長く、業界内に太いパイプがあること、多品種少量生産、短納期への対応力があることなどに強みがあるものの、社内でそれを明確に認識できていない。
 - ・また、これまで外部への情報発信や公的な制度の活用経験があまりない。
- ⇒そこで、公的制度の活用を通じて、事業者が所望する情報発信が可能となるのみならず、自社の見つけ直しもできると判断。

3. 解決策の提案

- ・まず、事業者には自社の情報発信を始めることを勧め、技術力のアピールになる「大阪ものづくり優良企業賞」を紹介した。審査の過程で検討の必須となるポイントなどを助言。
- ・また、ものづくり・商業・サービス革新事業補助金などその他の公的制度への申請も行うという意向があったので、そのための事業計画づくりや強みの見直しについてアドバイスを実施。



4. 成果

- ・事業計画を練り上げ、事業者は自社を見つめ直すことを行い、地域産業発展の足掛かりとして目標としていた3つの公的な制度に採択された。
 - ・1つ目は「大阪ものづくり優良企業賞」を受賞した。申請する上で、自社の技術力や取組み、人材育成などを見つめ直し、強みを再認識できた。また、「大阪ものづくり優良企業賞」受賞により、自社の技術力や取組み姿勢を社内外にアピールできるようになった。
 - ・2つ目は「おおさか地域創造ファンド」に採択された。公的な支援と補助金を受けて、地場産業の活性化への取組みができ、今後更なる飛躍が期待できる。
 - ・3つ目は「ものづくり・商業・サービス革新事業」に採択された。一度目は採択されなかったが再挑戦し、当拠点の2度の申請に対するアドバイスや、上記2件の応募を通じて自社の強みの把握や事業計画策定のスキル獲得ができたことにより採択に至った。
- ⇒今後は強化された情報発信力により強みを生かしたさらなる事業拡大が見込まれ、引いては地域産業の知名度向上が期待される。

